

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	生涯学習の充実	基本事業	生涯学習機会の充実		
部名	教育部	事業開始年度	- 年度	区分 1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	区分 2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市民
意図	<p>現代の課題や生活課題をテーマに講座や人材育成のための研修会等を開催する。</p> <p>社会の急激な変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために必要な現代的生活課題に関心を持ち、必要な知識や能力を獲得するとともに、地域活動に参画するための人材の発掘、養成の機会とする。</p>
手段	

事業量・コスト指標の推移		区分	単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	市民		人	122,977	122,568	123,054	122,138	
対象指標2								
活動指標1	講座等開催数		回	3	3	3	1	
活動指標2								
成果指標1	講座等参加者数		人	610	1,124	300	100	
成果指標2								
単位コスト指標								
事業費計 (A)			千円	85	70	100	95	0
正職員人件費 (B)			千円	1,672	1,245	1,249	1,222	0
総事業費 (A) + (B)			千円	1,757	1,315	1,349	1,317	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案 (2月時点)

これまでの不特定多数への講座はある一定程度成果が上がったため、平成 23年度からは団体の自立に向けるような目的を明確にした研修会を実施する。

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ3年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性 (コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性 (成果)	向上			
	維持			
	放低下			